

町立辰野病院・介護老人保健施設「福寿苑」運営委員会会議録

日時 平成26年8月21日(木) 16:00~17:00

場所 福寿苑 会議室

【出席者】(委員) 篠平良平 宮下敏夫 三堀善業 熊谷久司 瀬戸正幸 井口敬子 有賀元榮
大槻四郎 新田政男 加島町長 土屋院長 小口福寿苑施設長 赤羽事務長
水野総看護師長 今福事務長補佐 一ノ瀬福寿苑事務長 上島福寿苑看護師長

【欠席者】(委員) 柘植副院長

1. 開会 16:00 赤羽事務長進行

それでは皆さんご苦勞様です。定刻にはなっておりませんが、皆様おそろいでございますので、只今から町立辰野病院・介護老人保健施設「福寿苑」運営委員会を開催させていただきます。まず、開催に先立ちまして、委嘱状の交付を行います。

(加島町長より委嘱状の交付)

ここで挨拶を賜りたいと思います。有賀委員長様お願いします。

2. あいさつ

(有賀委員長)

皆さんこんにちは、只今は福寿苑の閉園式ということで多数の参列いただきましてありがとうございます。ひとつの辰野町の歴史に幕が降りた、そんな感じで寂しいような、また色々な想いを描きながら閉園式に参列させていただきました。本日は運営委員会に参加していただきありがとうございます。大切な協議事項がいくつかありますので、スムーズに協議ができますよう皆様にご協力いただきまして無事に終わり事をお願いして運営委員長の挨拶とします。よろしくをお願いします。

(加島町長)

どうも皆さん改めましてこんにちは。今、話もありましたように先程は閉園式ということで大変ありがとうございました。新しい委員にそれぞれ替わりまして、新田先生と大槻さんにはいきなり委員になって閉園ということとで大変恐縮でありましてけど、よろしく願います。辰野病院は、皆さん方見ていただいたとおり、そちらの方の敷地がきれいに片付まして、草も生えて来んな良い所があったのかと思うような敷地が残ったわけでありまして。福寿苑も23日、24日ですかそれぞれ移動があれば、ここが無人になってしまうような形でありまして、福寿苑につきましては、条例があるわけですが、後利用のこともありますし、決算とも残っています。まだ、返すべきお金も残っておりますので、施設そのものとしての役目は終わりますけど、まだしばらく福寿苑の機能というもの残っていくのではないかと思います。その点についても、ご相談するようになるかと思いますがよろしくお願いします。医療関係、特に病院運営に関しましては、皆様方のご支援の中運営していくわけでありまして、厳しい状態が続いております。先生におかれましては、この3月で1名減員という形の中で、8名体制から7名体制ということで、非常に苦しい中で現在のスタッフの中で運営をしていただいております。非常にご苦勞をいただく中でありまして、職員の皆さんにがんばっていただいて、

何とか町民の暮らしを守っていただいているということで、非常にありがたい訳でありますけれど、今後とも引き続いてご支援を賜りたいと思います。今日は、この25年度の決算ですとかが主でございます、これが監査を受けて9月の議会に提案というような形になる訳ですけれど、皆様方にご審議いただいて、忌憚ないご意見を伺う中で進めてまいりたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

(土屋病院長)

今日はお暑い中病院、福寿苑の運営委員会のためにお集まりいただきまして本当にありがとうございます。病院の方の最近の状況でございますけれども、一番変化がありましてのは、先ほど町長もおっしゃってましたけれど、整形外科の宮澤先生が3月一杯で退職となりまして、あとパートで来ていただいている訳ですけれども、8名から元の7名になってしまいました。7名というのが非常に多いんですけど、また7人の侍に戻ってしまいました。しかし、大学にももう何回も大学詣でをしてきました。少し効果があったのではないかとことなんですけれども、7月7日の月曜日から大学の方の整形外科のパートに来ていただくことができるようになりました。植村先生という先生に毎週月曜日に来ていただいております。以前は、なかなかパートも大学から派遣してもらえなかったんですけども、何とかそういう面で助けてもらえる状況になって、大学との関係に進歩があったかなと思います。そういうことで、整形の外来は月曜日の植村先生、火曜日の関先生、水曜日が宮澤先生が退職されたあと隔週でやっていたんですけど、7月から宮澤先生も毎週ということになりました。今、月・火・水ということで毎週整形を外来やっている。常勤はいませんが、何とか需要に多少なりとも応えるような体制で、以前の常勤がいなかった状況よりは良いのではないかと考えております。経営的には、またあとで事務の方から話があると思いますが、やはりこの整形の特に入院の減少というのが大変大きく響いておまして、残念ながら経営的には前回よりは少し悪化している所があります。しかし、内科とか透析なんかはまだ伸びてきている。特に透析が非常に増えてきておまして、ドクター一人では大変かなという状況になってきています。いろいろありますけれど、大きな流れはそんな所であります。今日は色々と検討いただいて、ご審議いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(小口福寿苑施設長)

皆様、本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。福寿苑に関しましては、今日閉所式ということで、今後の見通しという所ではあまり関係がなくなってしまったのですが、入所者は早期退所されて他の施設に移られた方も何名かはいますが、新しい福寿苑の方にスムーズに移行できる見通しとなっております。収支に関しては後でご報告させていただきますので、よろしくご検討の程申し上げます。

3. 協議事項

(有賀委員長)

それでは、協議事項に入ります。まず、(1)から(5)までを進行させていただきます。各位項目ごとに皆さんの質疑を受けて、承認という形をとっていきたいと思います。1項目ずつという形になりますのでよろしく申し上げます。

(1) 平成 25 年度町立辰野病院事業決算について

(今福事務長補佐)

資料「平成 25 年度 町立辰野病院事業会計決算書」を説明

(有賀委員長)

ただいま、事務局のほうから説明がありましたけれど、皆さんの中から質疑受けたいと思います。何か聞いてみたいこと、あるいはご不明な点がありましたら挙手していただいて、発言をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(有賀委員長)

質疑ありますでしょうか。無いようでしたらこの委員会として承認いただくことに異議ありませんか。

(委員)

異議なし

(2) 平成 25 年度介護老人保健施設「福寿苑」決算について

(一ノ瀬福寿苑事務長)

資料「平成 25 年度 辰野町介護老人保健施設特別会計」を説明

(有賀委員長)

ありがとうございました。ただいま、説明のございました福寿苑の決算について、質疑を受けたいと思います。何かある方は挙手をお願いします。

(有賀委員長)

質疑がないようでございますので、この委員会として承認いただくことに異議ありませんか。

(委員)

異議なし。

(3) 平成 26 年度町立辰野病院及び介護老人保健施設「福寿苑」運営状況について

(赤羽事務長)

資料「町立辰野病院事業経営状況一覧表」平成 26 年 6 月分 を説明

資料「町立辰野病院患者数調べ」を説明

(有賀委員長)

(一ノ瀬福寿苑事務長)

資料「辰野町介護老人保健施設福寿苑 予算執行状況 平成 26 年 6 月分」を説明

資料「福寿苑月別利用状況」を説明

(有賀委員長)

ありがとうございました。ただいま、辰野病院と福寿苑の運営状況についてご説明いただきました。皆さんから何か質疑ありましたらお願いします。

(熊谷委員)

病院の 6 月分までの状況について中身をお聞きしたいんですけど、整形外科の医師がいなくなったことで、そのマイナスが出ているということで数字の上でも出ている訳ですけども、非常勤の医師がこれから見えるということですけども、昨年度比較でのマイナス分をどのくらいで食い止められそうな

のかをお聞ききたい。

(赤羽事務長)

数字的にははっきりと言うことができませんけれども、こちらに出ている整形外科の外来分ですけど、今回の539万7千円、昨年度対比減となっておりますが、これは4月から6月の3か月分となっております。現在、先ほど院長が申しましたとおり7月から毎週月曜日に外来を始めまして、水曜日も1・3・5週の隔週から毎週やるようになったということで、外来分につきましてはゼロにはなりませんけど、ある程度は同じような数字で続くのではないかと考えております。入院の方につきましては、やはりどうしても整形外科の昨年度の状況でも平均でも10人から15人の入院患者がおりました。それがマイナスになっておりますが、亜急性期でやっていたものが、7月から地域包括ケア病床で運営を始めた中で、こちらに整形外科の患者も入ってきます。ですので、ゼロにはならないということでありまして、やはり入院に関しては赤字幅は広がっていくと思います。

(熊谷委員)

非常勤の医師でも入院は受け入れられるか

(土屋院長)

それは駄目です。入院患者はあくまでも常勤の医師が診るということですから、整形外科の患者さんでも内科で診れる場合もあります。今、総合診療科の阿達医師もいますし、手分けして診るようにはしておりますけれどパートの医師にはできない。

(赤羽事務長)

医局会の話の中で、院長が申しましたとおり整形の圧迫骨折とか簡単な骨折でしたら内科の方で受けたりとかする方向でいます。毎週火曜日に来ている医師が午後も診療していただいております、整形の入院の方も診ている状況となっております。

(熊谷委員)

もう1点お願いします。そんな中で透析の部門が健闘されてまして、確か増床された効果が出ているのかなということもあろうかと思いますが、やはり辰野の一番の特徴というか外部に対してアピールできるのが透析部門がよそにない部門で、もっとアピールしてもっと受け入れることはできないですか。

(土屋院長)

これは、今のスタッフでは手一杯です。確かに透析の患者さんというのはこれからも増えていくとは思いますが、本当に余裕がないというか要するに受け入れる方もかなり無理をしている状況です。やはりマンパワーです。そこが不足があるということで、それから一人の医師ではもうかなり厳しい状況です。パートを大学の第2内科から送っていただければ多少変わってくるかも知れませんが。それも交渉はしております。でも、今のままでよりアピールして患者さんを増やすというのはできない状況です。

(熊谷委員)

受け入れ態勢も必要ということですね。

(土屋院長)

そうです。手一杯です。

(熊谷委員)

希望する患者数は更にあるか。

(土屋院長)

あると思います。透析を受けている患者さんの余命も非常に延びていますから、そういう面でも増えてきています。

(熊谷委員)

ひとつはそこを意図して体制を強化していくことができれば、やっぱり病院って何か特徴を持たないといけないと思います。となると、今一番特徴あるのは透析ということになるということで、力の入れ場所と的を絞って力を入れていくとよろしいのではないかと。色々難しいと思いますけどがんばってください。

(有賀委員長)

その他になにかありますか。

なければ質疑を終了させていただいて、委員会として承認いただけますでしょうか。

(委員)

異議なし。

(4) 辰野町介護老人保健施設条例の廃止について

(一ノ瀬福寿苑事務長)

資料「辰野町介護老人保健施設条例を廃止にする条例」を説明

(有賀委員長)

ありがとうございました。ただいまの説明で施設の廃止に対する条例について、ご異議ありますか。

(委員)

異議なし。

(5) その他

①辰野病院の跡地利用について

(赤羽事務長)

それでは辰野病院の跡地利用についてということで、この間の経過の方を若干説明させていただきます。冒頭に町長がお話しましたとおり、解体工事を終了しまして、今更地になっています。解体工事につきましては、平成26年1月21日から6月30日までの工期ということで行いまして、現在はきれいになっている状態です。跡地利用につきましては、この間庁舎内で跡地利用検討委員会を設置しまして、まちづくり政策課が主になってやっておりますが、検討している中で今年の8月に宅地造成化ということで方向付けをしまして、地権者の皆さんの説明会を実施しました。また、議会の全員協議会の方でも説明させていただきました。その後、引き続き委員会の方を行っている中で、今年の6月30日に第4回の検討委員会を行ったわけでありまして、話しの中では、やはり少子高齢化対策、これは町の今一番の大事な施策になってくるわけですが、少子高齢化対策としての移住定住促進の位置付けでの宅地造成ということで確認をしております。現在、それに合わせまして色々な企業にあたり、また、提案を受けたりという中で検討しているわけでありまして、できれば民間主体によります宅地造成化ということでまとめていく方向にはなっております。先ほど説明しましたが、地権者の方が6名おりまして、それに町の土地があるということで、町も一地権者としてその中に加わりながら、一緒にこれからの造成化へ向

けての検討に入っていくということと、どのようにやっていくか、例えばプロポーザルで決めるとか、その辺に着きましても今後検討していくという状況でございます。

(加島町長)

病院は難しいところがあるというか、町が本当にごく一部ということもあります。それと、虫食いで動いていってしまうと、後残ったものがうまくできない。入り口のところを個人の人が売ったということがあればもちろんほかの人が開発できないわけですし、色々あります。他に一括して買っても良いというような所があるんですけども、買ってもらえるのは良いんですけども、何ができるという話に繋がっていかないと難しい問題がありますので、そこらへんの所がなかなか進んでいかない原因であるわけでございます。町があまり表に出てやりますと、がんじがらめになってしまいますので、できれば地権者の皆さん方、多くの土地を持っている方の総意としてどうゆう風にやりたいというのがあって、町が手伝いができるというのが本当は良いわけですけども、模索しながらあちこちに声を掛けたりして、時間がかかっている状況になろうかと思えます。何か一発でうまくいくようなことがあれば良いですけども、なかなか無いのが現状です。もうちょっと我慢していただいて、ご意見あればお聞かせいただいで。

(有賀委員長)

今、町長さんからご説明ありましたが、皆さんの中で何かご意見があれば、こんな方法が良いじゃないという考えをお持ちでしたら出していただければと思います。

(熊谷委員)

やはり、民間の不動産業者、宅建業者に任せて積極的に販売してもらおうって言うのが一番の近道のような気がします。工場用地とか色々言ってみても、あるいは商業用地といっても不適當で住宅地が一番適當のような気がします。

(有賀委員長)

また、参考にしていただいてご検討いただければと思います。

②福寿苑の今後について

(一ノ瀬事務長)

福寿苑の今後でありますけれど、先にスタッフの関係をお話しさせていただきたいと思えます。福寿苑のスタッフでありますけれど、事務の職員についてはこの3月31日で2人とも定年退職されました。4月1日に介護員5人の方が教育委員会に2人、住民税務課に2人、辰野病院に1人ということで移ってもらっています。現在いらっしゃる方達でございますが、看護師さん4人いらっしゃいますけど8月31日をもって基本的には退職となります。その内3人の方が平成会の方へお移りになるようでございます。社会福祉士の方お1人いますが、この方についても8月31日をもってご退職となります。介護員のかた5人いらっしゃいますが、こちらの方については9月1日に移動をかけて辰野病院へ移るという予定になっています。次は福寿苑の建物の今後でございますけれども、議会でも若干お話をしておりますけれども、昨年このぐらいから春先にかけて4つの団体というか個人も含めてですけれども、お話がございました。2つが障害者の施設というご提案と申しますがお話がございました。それから、もう2つが高齢者の施設にどうかというお話なんですけれども、本当に細かいお話ではなくてどうだろうかという程度の話でございました。ただ、障害者の施設を提案してきた事業所については、2階・3階かフロアになってはいますが、2フロアを使うほどの事業展開は難しいということでございまして、うちの方とし

ましては基本的には全館を使っただけの方が一番望ましいのかなということで、ご提案をいただく形で待っていました。今日までそれ以後ご提案がございませんので、ここで入所者の方が居なくなりますので、この後この施設内を写真なんかを撮って、今度はホームページの方へ福寿苑のイメージなどを判っていただくような形を持って公募というか提案を募って行きたいと考えております。基本的には福祉施設ということで考えているのですけれども、それに限定はしておりません。ただ、福祉施設を引き続きやっていただけるようであれば、国としては起債、平成33年まで起債の借金が残っていますのでそれについての繰上償還といいますか一括償還については良いと言ってくれていますけれども、福祉施設以外のものであれば一括償還しなければならないだろうと言われているものですから、いずれにしても広く提案を受けて行きたいと思っております。ただ、いつまでも待っているわけにもいきませんので、気持ちの中では年内に方向性を出したいと思っておりますが、県との調整の中では遅くも年度末までに方向性を出して欲しいと言われているので、それまでには何とかしたいと思っております。実際、あせっているというのが現状です。これから、まちづくり政策課が先ほど病院の事務長も言っていました、病院跡地と福寿苑の後利用についてプロジェクトチームを6月末に立ち上げましたので、一緒になって積極的に取り組んでいきたいと考えております。

(林委員長)

今、ご説明ありましたけど、この施設の後利用につきまして先があるかなという感じなんですけど、時間が無いというのがひとつで、大変お忙しい中をご努力いただいているのが良く解りましたので、是非よろしくお願ひしたいと思います。その他にありますか。

(今福事務長補佐)

資料「平成25年度辰野病院改革プラン点検報告について」を説明

(有賀委員長)

それでは、予定されていた協議事項は一旦ここで閉めさせていただきたいと思っております。後、何か病院とかご意見などあったらお願いします。

(赤羽事務長)

その他のその他ということで、特にこちらの方では用意してございません。何かこの場でありましたら出していただきたいと思っております。

(有賀委員長)

私も、あまり病院に行かないものだから行けないんですが、受付をやるときにちょっと音声が低くて言っている事が解らない人がある。私も実は解らなくて、再来機の音声が意外と聞きづらい。事務員さんがいたのでその話はしましたけれど、耳の不自由な人がいらっしゃるの、カードを入れたけれども、それから後が解らない。言っている言葉が非常に解りづらいので、字でやり方を説明してくれるといいと思うので、そういった配慮をお願いできればと思っております。

(赤羽事務長)

5. 閉会

(赤羽事務長)

以上を持ちまして、町立辰野病院・介護老人保健施設「福寿苑」運営委員会を終了します。本日はありがとうございました。